

市街地を守る土石流危険溪流対策



久次良地区

市街地を守る砂防堰堤

野上沢下流砂防堰堤

土石流の発生の危険性があり、人家(5戸以上)に被害を及ぼす恐れのある溪流を「土石流危険溪流」といい、砂防堰堤などの整備を進めることとされています。

日光における久次良地区の土石流危険溪流は上の写真の通り。

そのうちの野上沢下流砂防堰堤は、男体山の噴火に起因する火山堆積物が厚く積もり、通常のコンクリート砂防堰堤を支えるにはもろい地質となっています。そのため、野上沢下流砂防堰堤の建設にあたっては、鋼製セル+鋼矢板基礎を採用しました。

直線の鋼矢板を円筒形に建て込み、その中に土を詰めて堰堤の本体としています。現地の土では粘性が高く、中詰め土としては適さないため、日向砂防堰堤の堆積した砂質土を利用しています。



野上沢下流砂防堰堤



水の谷沢第2砂防堰堤



さらにかわしい
情報はこちらから

国土交通省 関東地方整備局 日光砂防事務所

「砂防なくして日光なし」-先頭を立て砂防の必要性を訴えた初代日光市長・佐々木耕郎氏の言葉